

様式4 令和5年度新座市学校評価システム 課題報告書

学校名	新座市立大和田小学校
実施日	令和5年12月4日

No.	質問項目	評価結果を踏まえた具体的な改善策	中間評価ポイント	評価 S/A/B/C
			本評価ポイント	評価 S/A/B/C
1	学校は、働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めるよう組織的に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一主任を原則としているが、複数の主任を担っていて負担が大きい教員がいるため、原則通りになるよう配慮する。 ・教科等部会によって負担の大小に差があるため、教科等部会の負担によって構成する人数を適切に配置できるよう組織を構成する。 ・校務分掌組織の構成を見直すこととした。具体的な見直す点について、組織改善委員会において検討している。 	2.45	A
			2.53	A
11	学校は、体育や部活動、休み時間などを通じて、児童生徒が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上のための指導者講習会を開催し、教員の指導力向上を図る。 ・学校体操をつくり、小学校6年間を通して継続的に体を動かす楽しさを味わえる体育授業を展開する。 ・作成した学校体操を体育科授業で活用し、小学校6年間を通して継続的に体を動かす楽しさを味わえる体育授業を展開している。 ・体育委員会の活動としてドッジボールフェスティバルを実施するなどして、児童が楽しみながら運動する機会を創出する。 	2.58	A
			2.56	A

総 評

11	<p>■中間評価 ■本評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌等では、熱意のある教員に支えられている側面があり、負担の偏りが生じている。組織の構成を改善することにより、負担の均衡を図れるよう、次年度に向けて検討を進める。 ・体育科授業の指導力向上に対する教員の意識にもばらつきがある。学校体操づくりや指導法の講習等を通して、底上げを図っていく。 	中間評価	評価
			本評価	評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の最終退勤時刻は、昨年度と比較して早くなっている。年間授業時数を精査し、余裕時数が適切になるように配置することにより、働き方改革をさらに推進していく。 ・縦割り班活動においても各教室だけでなく、運動場や体育館も活動場所として割り当てることにより、運動に親しむ機会を創出していく。 		